

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【公開番号】特開2009-72942(P2009-72942A)

【公開日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-014

【出願番号】特願2007-241913(P2007-241913)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月25日(2010.8.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

弾性チューブと、前記弾性チューブの端部の内側に圧入して嵌め込まれた端部補強管と
、
前記弾性チューブの端部の外周を被うように設けられた継手部とを有し、
前記端部補強管は、弾性チューブの端部の先端面に係止するフランジを備えたことを特徴
とする流路形成部材。

【請求項2】

前記端部補強管は、前記弾性チューブよりも硬質材料により形成されたことを特徴とす
る請求項1に記載の流路形成部材。

【請求項3】

前記継手部は、前記補強管が前記弾性チューブの端部の内側に嵌め込まれた先端よりも先
まで形成されたことを特徴とする請求項2に記載の流路形成部材。

【請求項4】

前記端部補強管は、前記弾性チューブの端部の内側に嵌め込まれる先端が尖鋭部に形成さ
れたことを特徴とする請求項2乃至3に記載の流路形成部材。

【請求項5】

複数並設された弾性チューブと、基端がベース部に一体となり前記弾性チューブの端部
の内側に圧入して嵌め込まれた複数の端部補強管と、前記弾性チューブの端部の外周を被
うように設けられた継手部とを有し、
前記端部補強管は、前記弾性チューブの端部の先端面に係止するフランジを備えたことを
特徴とする流路形成部材。

【請求項6】

弾性チューブの端部に継手部を備えた流路形成部材の製造方法において、前記弾性チュ
ーブの端部の先端面に係止するようにフランジを設けた端部補強管を前記弾性チューブの
端部の内側に圧入して挿入し、前記弾性チューブの端部の外周側を樹脂で被うようにして
前記継手部を成形したことを特徴とする流路形成部材の製造方法。